

第 118-3 回歯科国試全国統一模擬試験の問題及び解説に不備がございました。下記のように訂正下さいますようお願い申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

A 問題 1 解説書 3 ページ

選択肢考察

誤 × d 地域包括支援センターは、～『地域保健法』に規定されている。

↓

正 × d 地域包括支援センターは、～『介護保険法』に規定されている。

解説の記載に誤りがあったため訂正いたします。なお、採点に変更はございません。

A 問題 25 解説書 25 ページ

ポイント 1 行目

誤 小唾液腺とその開口部

↓

正 唾液腺とその開口部

解説の記載に誤りがあったため訂正いたします。なお、採点に変更はございません。

A 問題 30 解説書巻頭出題内容一覧及び解答、解説書 30 ページ、問題 13 ページ 25 年 1 月 16 日訂正追加

問題文

誤 ～3 つ選べ。

↓

正 ～2 つ選べ。

選択肢考察

誤 ○ c スガマデクスナトリウムはロクロニウム臭化物やベクロニウム臭化物などの非脱分極性筋弛緩薬に対する拮抗薬として使う。スガマデクスナトリウムはアナフィラキシーショックのリスクが比較的高いため、投与後はよく患者の状態を確認する。

↓

正 × c スガマデクスナトリウムはロクロニウム臭化物などの非脱分極性筋弛緩薬を不活性化する。スガマデクスナトリウムはアナフィラキシーショックのリスクが比較的高いため、投与後はよく患者の状態を確認する。

正解

誤 a、c、e

↓

正 a、e

選択肢 c のスガマデクスナトリウムはロクロニウム臭化物などに対して選択的に直接包接体を形成して、これら非脱分極性筋弛緩薬を不活性化するため、アンタゴニストの定義とは外れ誤答となります。

設問に不備があり、正解が得られない選択肢があったため、不適切問題とし全員正解として採点いたします。

A 問題 67 解説書巻頭出題内容一覧及び解答、解説書 73、74 ページ 25 年 1 月 16 日訂正追加

選択肢考察

誤 × e プリックテストは即時型アレルギーの検査であるが、本例とは無関係な検査である。

↓

正 ○ e Behçet 病の患者の多くは *Streptococcus sanguis* をはじめとする口腔内レンサ球菌に強い過敏反応を示すことから、Behçet 病の検査としてレンサ球菌死菌抗原によるプリックテストが行われることがある。

正解

誤 c

↓

正 c/e

Behçet 病が疑われる症例で、レンサ球菌ワクチンによるプリックテストの陰性・陽性をみることもあるため、c または e を選んだ場合、正解として採点いたします。

A 問題 73 解説書 79 ページ、問題集 34 ページ

選択肢

誤 e 患側耳珠前方部の突出

↓

正 e 関節結節前方部の陥没

選択肢考察

誤 × e 片側性顎関節前方脱臼では下顎頭が関節結節を越えて前方転位を起こしているため、患側耳珠前方部は陥凹する。

↓

正 × e 顎関節前方脱臼では、下顎頭は関節結節前方部に位置して下顎窩に戻らない状態となっているため、関節突起前方部は下顎頭により突出する。

選択肢、解説の記載に誤りがあったため訂正いたします。なお、採点に変更はございません。

B 問題 21 問題集 9 ページ

問題文

誤 マルチブラケット装置と併用するのはどれか。2つ選べ。

↓

正 マルチブラケット装置と併用するのはどれか。1つ選べ。

模擬試験実施前に上記の誤りが発覚したため、訂正表を事前に周知しましたが、一部の受験生への伝達不備が発生しましたので、不適切問題とし全員正解として採点いたします。

混乱を招きましたことお詫び申し上げます。

B 問題 64 解説書巻頭出題内容一覧及び解答、解説書 176 ページ 25 年 1 月 16 日訂正追加

選択肢考察

誤 × c /n/発音時は顎間関係の記録に特に利用されない。

↓

正 ○ c 咬合記録材を介在させて/n/を持続的に発音させると、約 1mm の厚みとなる。

正解

誤 d

↓

正 c/d

/n/も厳密には間違いとはならないため、c または d を選んだ場合、正解として採点いたします。

B 問題 83 解説書巻頭出題内容一覧及び解答、解説書 197,198 ページ、問題集 40 ページ

解説書巻頭出題内容一覧

誤 ブラスワイヤーを用いた歯冠分離

↓

正 ブラスワイヤーを用いた歯間分離

問題文

誤 ブラスワイヤーを用いた歯冠分離を行う際に用いるのはどれか。

↓

正 ブラスワイヤーを用いた歯間分離を行う際に用いるのはどれか。

選択肢考察

誤 ○ e Howe のプライヤーはブラスワイヤーを用いた歯冠離開の際に用いる。また結紮線での結紮の際にも用いる。

↓

正 ○ e Howe のプライヤーはブラスワイヤーを用いた歯間離開の際に用いる。また結紮線での結紮の際にも用いる。

ポイント

誤 ブラシワイヤーを用いた歯冠離開には Howe のブライヤーを用いる。

↓

正 ブラシワイヤーを用いた歯間離開には Howe のブライヤーを用いる。

問題文、解説の記載に誤りがあったため訂正いたします。なお、採点に変更はございません。

C 問題 2 解説書巻頭出題内容一覧及び解答、解説書 210 ページ 25 年 1 月 16 日訂正追加

選択肢考察

誤 × a、○ b、× c、× d、× e

リドカイン塩酸塩は初回通過効果が非常に高く、経口投与に適さない。その使用目的により、塗布や注射が用いられる。また、気管内投与で効果を発揮することが可能な薬物でもある。気管内投与でできる薬物は他にアドレナリン、ナロキソン塩酸塩、バソプレシン、アトロピン硫酸塩水和物がある。

↓

正 × a、○ b、× c、× d、○ e

リドカイン塩酸塩は初回通過効果が非常に高く、経口投与に適さない。その使用目的により、塗布や注射が用いられる。また、気管内投与で効果を発揮することが可能な薬物でもある。気管内投与でできる薬物は他にアドレナリン、ナロキソン塩酸塩、バソプレシン、アトロピン硫酸塩水和物がある。プロプラノロール塩酸塩は、初回通過効果が大きい一方で、経口投与による適用方法も存在する。食後の投与により消化管血流量が増大し、代謝されにくくなる。

正解

誤 b

↓

正 b、e

初回通過効果が大きいのはどれか。という問題文ですが、「経口投与に適さない」という指定がないため、選択肢 e の「プロプラノロール塩酸塩」も正解となります。

問題の問い方に不備があったため、不適切問題とし全員正解として採点いたします。

C 問題 17 解説書 223 ページ 25 年 1 月 16 日訂正追加

選択肢考察

誤 × c ハイアングルケースはオーバージェットが小さくなる傾向がある。

↓

正 × c ハイアングルケースとオーバージェットとの関係性はない。

解説の記載に誤りがあったため訂正いたします。なお、採点に変更はございません。

C 問題 18 解説書 224 ページ

アプローチ

誤 遺伝子検査にはウエスタンブロッティング法や PCR 法、*in situ* ハイブリダイゼーション法などがある。

↓

正 遺伝子検査にはサザンブロット法やノーザンブロット法、PCR 法、*in situ* ハイブリダイゼーション法などがある。

ポイント

誤 ・ウエスタンブロッティング法

↓

正 削除

解説の記載に誤りがあったため訂正いたします。なお、採点に変更はございません。

C 問題 32 解説書 241、242 ページ

選択肢考察

誤 × b エンドクラウンは非貴金属材料での製作を行う。～

↓

正 × b エンドクラウンは非金属材料での製作を行う。～

ポイント

誤 ・非貴金属材料で製作する。

↓

正 ・非金属材料で製作する。

解説の記載に誤りがあったため訂正いたします。なお、採点に変更はございません。

C 問題 65 解説書 279,280 ページ 25 年 1 月 16 日訂正追加

アプローチ

誤 ～叢生がみられる。上顎両側第二小白歯および下顎両側第一小白歯の抜去を伴うマルチブラケット装置を用いた矯正歯科治療を選択していることを考慮する必要がある。

↓

正 ～叢生がみられる。上顎両側第一小白歯および下顎両側第一小白歯の抜去を伴うマルチブラケット装置を用いた矯正歯科治療を選択していることを考慮する必要がある。

選択肢考察

誤 ○e 口腔内写真から両側とも上顎第一大臼歯の近心頬側咬頭が下顎第一大臼歯の頬面溝と咬合していない。上顎両側第二小白歯の抜去を伴うマルチブラケット装置を用いた矯正歯科治療を選択しているため、上顎第一大臼歯を近心移動することで Angle I 級の大白歯関係の確立を行う。

↓

正 ○e 口腔内写真から両側とも上顎第一大臼歯の近心頬側咬頭が下顎第一大臼歯の頬面溝と咬合していない。上顎両側第一小白歯の抜去を伴うマルチブラケット装置を用いた矯正歯科治療を選択しているため、上顎第一大臼歯を近心移動することで Angle I 級の大白歯関係の確立を行う。

解説の記載に誤りがあったため訂正いたします。なお、採点に変更はございません。

C 問題 67 解説書巻頭出題内容一覧及び解答、解説書 281、282 ページ 25 年 1 月 16 日訂正追加

選択肢考察

誤 ○a テーパーツールは外開き型のブロックアウトを行う際に使用する。ブロックアウトとはアンダーカットの修正であるため、サベイラインの描記後に用いる。

○c ワックストリマーはアンダーカットの修正に用いるため、サベイラインの描記後に用いる。

×d アナライジングロッドはアンダーカットの目測を行うために用いる。サベイングの手順で最初に用いる。

↓

正 ○a テーパーツールは外開き型のブロックアウトを行う際に使用する。

○c ワックストリマーはアンダーカットのブロックアウトで用いる。

○d アナライジングロッドはサベイング最初の義歯の着脱方向の検討と、サベイング最後の等高点の記入に用いる。

正解

誤 a、c、e

↓

正 a、c、d、e

ポイント

誤 ①アンダーカットの分布と量を目測：アナライジングロッド

②義歯の着脱方向の決定

③等高点の記入：カーボンマーカー

④サベイラインの記入：カーボンマーカー

⑤鉤尖の位置決定：アンダーカットゲージ

⑥アンダーカットの修正：ワックストリマー、テーパーツール

↓

正 ①アンダーカットの分布と量を目測：アナライジングロッド

DES118-3 訂正表

②義歯の着脱方向の決定

③サベイラインの記入：カーボンマーカー

④鉤尖の位置決定：アンダーカットゲージ

⑤等高点の記入：アナライジングロッド

※ワックストリマー、テーパーツールは、フレームワーク製作時のアンダーカットのブロッ
クアウトで用いるため、他のツールよりかなり後に使用することになる。

選択肢 d のアナライジングロッドは、アンダーカットの目測にも等高点の記入にも用いるため、選択肢 d も正解となります。

問題設定に不備があったため、不適切問題とし全員正解として採点いたします。

エムスリーエデュケーション株式会社 歯科事業本部
DES 歯学教育スクール